

一

①

年季

②

沿革

③

印象

④

宝庫

⑤

仏閣

二

問 1

ア

○

イ

×

ウ

×

エ

○

オ

×

問 2

辞

問 3

形式論理の無矛盾の原則を守りつ
つも、作文の要素と読み手と書き手の間
で、文の要素と社会的な合意がある順
に、文化圏によつて違いが現れるも
の。

問 4

イ

問 5

A 最も効率がよく安価な

C 哲学的な考察

D 公共の福祉

E 共通善

B 道徳的な配慮

問 6

どの領域の論理かなる価値を選択す
るか、どの論理を使用するかによ
るが、正しいとい結論に至る道
筋が変わる。

三

問 1

ア
オ

問 2

心

X

不

乱

Y

問 3

I 戦争や貧困や病

II 過酷な人生

問 4

エ

問 5

ア

問 6

ア
エ
カ
キ

問 7

与えられ、
として受け取るもの。全て当然の
の自分を、自分の人生のたぐひの
誰にも奪われな。いもの。一
ようと血を吐く。思いで、
続ける。正しい。ハルモ二のよ
くした。いと。いう決意。

問 8

ウ

受験番号

氏 名

↓ここにシールを貼ってください↓



260410